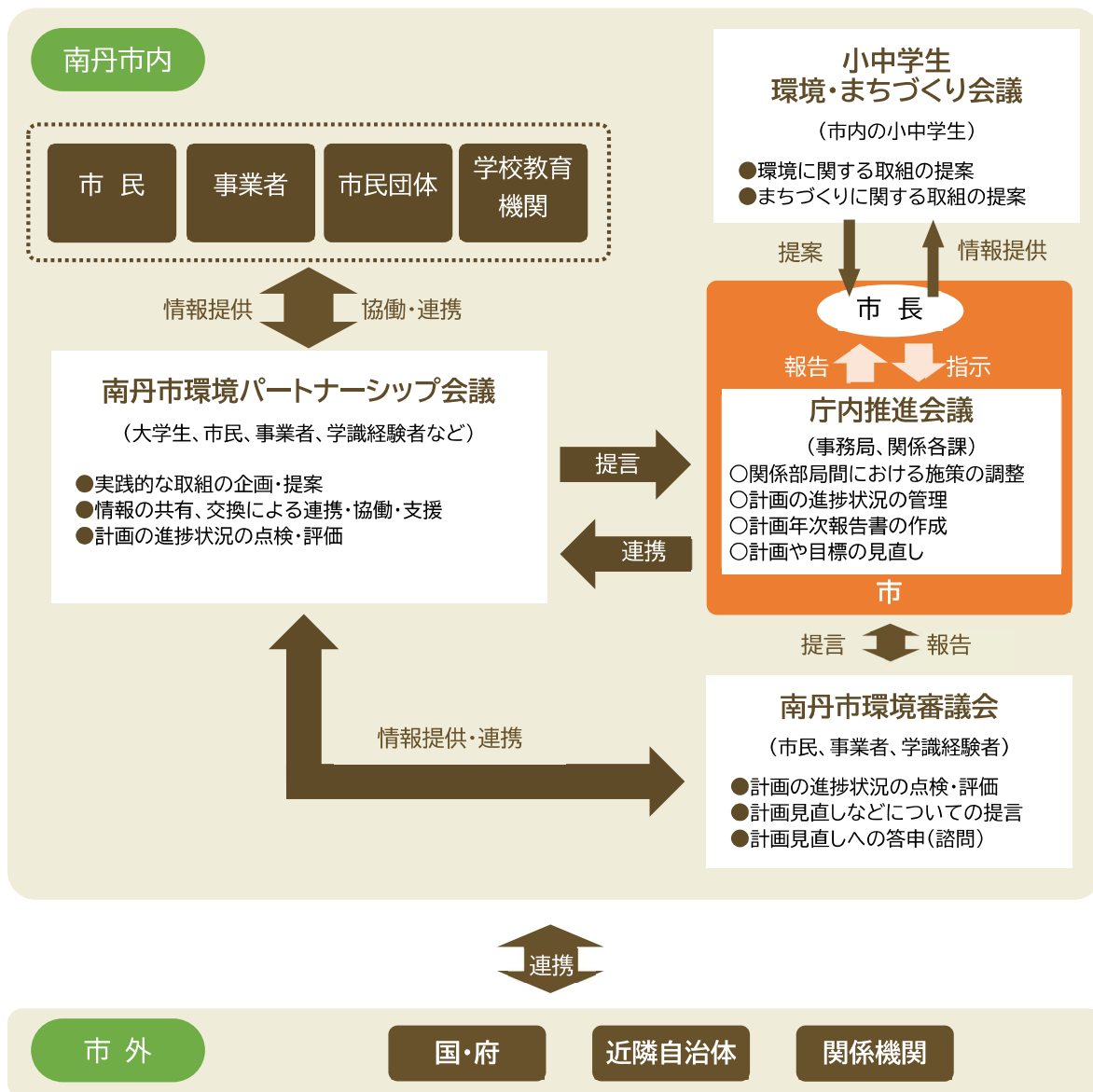


# 第5章 計画の推進

## 1 推進体制

環境基本計画と地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(以下、「両計画」という。)の推進にあたっては、市民、事業者、市の協働のもと、取組を進める必要があります。このため、以下のような推進体制を整備し、各主体が互いに連携しながら、計画の効果的な推進を図ります。



### ●南丹市環境審議会

南丹市美しいまちづくり条例に基づく市の付属機関で、市民・事業者・学識経験者により構成されます。

両計画の進捗状況や計画の見直しについて、市長からの諮問に応じ、調査・審議を行い答申します。

南丹市環境パートナーシップ会議で企画・提案された取組内容について、事務局からの意見を受け、意見を述べます。

### ●南丹市環境パートナーシップ会議

両計画推進のため、大学生、市民、事業者、学識経験者により構成されます。

計画の具体的な取組について企画・提案するとともに、情報の共有・交換による連携・協働を推進します。

また、市から計画内容の実施状況に関する報告を受け、計画の進捗状況を点検し、見直しが必要な事項などについて提言します。

### ●小中学生 環境・まちづくり会議

両計画の推進に将来を担う子どもの意見を取り入れるため、各小中学校の児童・生徒と市長が環境やまちづくりについて語り合う会議を設けます。

市長から児童・生徒に環境やまちづくりについて情報提供を行い、啓発に努めるとともに、児童・生徒から環境・まちづくりに関する意見やアイデアを頂き、必要に応じて両計画の施策などに取り入れ、実践します。

### ●庁内推進会議

庁内における推進組織であり、事務局である環境課と関係各課で構成されます。

各課間の連絡調整や計画に掲げる環境保全施策や重点プロジェクトなどの総合的な推進にあたります。

また、両計画の進捗状況を取りまとめて南丹市環境パートナーシップ会議や南丹市環境審議会に報告します。

## 2 計画の進行管理

### ● 進行管理の基本的な考え方

両計画に示した環境保全施策や重点プロジェクト、削減目標などの実行性を確保するには、進捗状況の定期的な点検・評価や必要に応じて見直すことが重要です。

このため、両計画では「計画 ⇒ 実践 ⇒ 点検・評価 ⇒ 見直し」のPDCAサイクルを基本として取組の実効性を確保します。

#### ■ 計画(Plan)

環境に関する社会情勢や上位計画などと整合を図るため、5年後を目途に全面的な見直しを行います。

#### ■ 実践(Do)

両計画に基づき、各主体が具体的な取組を実行します。

#### ■ 点検・評価(Check)

毎年、重点プロジェクトおよび主な計画関連事業や指標の進捗状況を把握し、計画の達成状況を評価します。

#### ■ 見直し(Action)

評価結果に基づき、施策や取組内容を見直し、次年度以降へ反映させます。

### ● 進捗状況の把握と公表

「南丹市年次報告書」により南丹市の環境の状況や施策・事業の取組状況、今後の取組方針などの点検・評価結果を公表します。